

# 日本災害看護学会 令和6年能登半島地震・能登豪雨災害看護プロジェクト活動報告

報告年月日：2024年12月1日（日）

活動隊員：金谷雅代

## 1. 活動期間

2024年11月27日（水）9時～15時

## 2. 活動場所

集会所：宝立町第1団地集会所（珠洲市宝立町鶴飼丑83）

高屋町（水害被災宅訪問）

## 3. 石川県西方沖を震源とする地震による被害等の状況（11月27日8時現在 石川県庁情報 第2報）

発生時刻：令和6年11月26日 22時47分頃

震源地：石川県西方沖（震源の深さ 7km）

地震の規模：マグニチュード6.6

震度5弱：輪島市、志賀町

震度4：七尾市、珠洲市、加賀市、かほく市、津幡町、宝達志水町、中能登町、穴水町、能登町

震度3：金沢市、小松市、白山市、能美市、野々市市、川北町

\*震度5弱以上と考えられるが、震度を入手していない 羽咋市

## 4. 珠洲市の被害状況

令和6年能登半島地震による被害状況（11月26日（火）14時現在 石川県庁情報 第173報）

人的被害 死者：137人 うち災害関連死：40人 負傷者：重症47人、軽症202人

住家被害 全壊：1,745棟、半壊：2,075棟、一部損壊：1,752棟 非住家被害：6,109棟

避難所 開設3箇所 避難者数29人（下線部は前報からの修正）

令和6年奥能登豪雨による被害等の状況（11月26日（火）14時現在 石川県庁情報 第32報）

人的被害 死者：3人 負傷者：軽症9人

住家被害 全壊：9棟 半壊：61棟 一部損壊：7棟

床上浸水：13棟 床下浸水：169棟 非住家被害：107棟（下線部は前報からの修正）

避難所開設状況 2箇所 避難者数24人

## 5. 支援活動の実際

<高屋町水害被災宅訪問> 9時20分～12時20分

ささえ愛センターにて打ち合わせを行い、訪問先を確認した後、ささえ愛センター職員と共に、高屋町の水害被災宅を訪問した。すでに仮設住宅で生活しているとの情報を得た住人については、仮設住宅を訪問し、被災宅についての罹災証明申請の確認と生活状況についての情報を聞き取った。7軒訪問し、聞き取りができたのは3軒だったが、不在住人の居住先に関する情報も得られた。

## <地域コミュニティ支援>

### n 宝立地区お茶会「集いの会」

日時：11月27日（水）13時～14時45分

場所：宝立町第1団地集会所

参加人数：8人

開催内容

お茶会の前に、写真修復の支援団体担当者2人からお茶会参加者へ、写真の修復について説明がなされた。写真が水に濡れているとバクテリアの侵入で損傷が進み修復が難しくなるため、早めに乾燥させるようにすることが望ましいと説明を受け、もっと早くに聞いておきたかったと話されていた。その後、座ってできる体操を実施した。また、魚カードで神経衰弱や絵合わせによる魚の漢字の確認を行った。「頭を使った、勉強になった」という声もあったが、「難しい、合わせられなくて残念」といった声もあった。

前日夜に珠洲では震度4の地震が発生しており、そのときの様子についても話題にあがっていた。

## 6. 支援活動を通しての所感と課題

水害に関する罹災申請をしている住宅の訪問を、ささえ愛センター職員と実施したが、多くがすでに仮設住宅で生活しており、自宅の片付けも終了している状況だった。土砂の流入を免れた、床下浸水被害の地域を訪問したためと考えられる。ただ、周辺を見せていただいたが、冬を前にしても、窓の養生が終わらないまま放置されている家があり、大量の土嚢でせき止められた山肌が至近にあるお宅もあり、自宅で生活していても危険な状況が続いていると思われた。

お茶会では、前夜に発生した地震についても話しており、被害はなかったものの、発生時にすぐに荷物を持って出られる準備をしたという人や、室内に靴を置いており、履いて出る準備をしたと話された。大きな地震を経験している住民は災害への備えが個々になされていることが分かった。しかし、地震の後も断続的な揺れがあったためか、「朝まで眠れなかった」と話す人もおり、地震の体験が今もなお心理的影響を及ぼし続けていることを理解して関わっていく必要がある。

## 7. 参考写真



「へん」と「つくり」を合わせて魚の漢字を完成させるカードゲームを実施